

Acutus program

2008.03.31

YutakaFutures

システム概要 コンセプトと狙い

相対的に割安な商品をロングすると同時に、これと密接な関係がある割高な商品をショートすることによって、限られたリスクで利益を得ようとするトレーディング戦略であるアービトラージを用い、各商品の価格変動リスクを、できるだけゼロに近づけるようにポジションを構築します。

マーケットにニュートラルな戦略であるため、市場動向によって大きな利益・損失が発生することは少なく、トレンドフォロー等に比べて、ローリスクで安定した運用を行います。

銘柄は6銘柄 組合せは3ペア

穀物市場の品種間取引

貴金属市場の品種間取引

エネルギー市場の品種間取引

システム概要 運用方針

絶対利益の追求

国内商品市場での裁定取引型運用手法です。マーケットにニュートラルで、ベンチマークにとられない絶対リターンを追及します。

最近の市場への対応

最近の新高値や新安値を頻発し、ボラティリティの高い市場に対応したアービトラージプログラムの運用。

再現性

統計手法を用いたシステム100%で売買判断を行い、高い再現性と安定性のある運用を目指します。

システム概要 運用概要

1. 裁定取引による安定運用

裁定取引型の運用特徴である、勝率の最大化を目指し、短期的な分析を主に
行うため、一般的なアービトラージ手法に比べてポジションの保有期間は短め
です。時間的リスクを抑えた運用により、収益の安定性を高めます。

2. 銘柄の選別

現在は、流動性に優れ近似相関性のある銘柄として、金/白金、ガolin/原油、と
うもろこし/Non-GMO大豆の3ペアで運用し、収益機会の分散と安定性を高めま
す。

3. 枚数 取引重量を揃えて建玉を行います

金：白金 = 1：2、ガolin：原油 = 1：1、とうもろこし：Non-GMO大豆 = 1：5

4. 構成比率

建玉の比率は各ペアの総約定とボラティリティによって変動します。
それにより、各ペアによる収益のバランスを合わせます。

システム概要 運用概要

5. 分析手法

短期的な移動平均の乖離と、その偏差を用いカウンターで売買判断を行います。トレンドとボラティリティによる判断で、売買にストップをかけ、大きく強いトレンドに対するカウンター売買の判断を回避または撤退を行います。

6. 限月乗換について

建玉は常に期先限月で行います。限月乗換は新甫発会の2日後の寄付で成行発注を行います。期先の出来高が最も多い現在の市場の状況を考え、流動性の確保のために行います。

7. ロスカットの設定

各ペアの保有ポジションの収益率が-2%を下回った場合、翌営業日の寄付でロスカットを実行します。再エントリーは、改めて新規建玉のサインが出た所で行います。また、全体での月次成績を日次観測し、大引評価が-3%を下回った場合は翌営業日で全建玉をロスカットします。再エントリーは、翌月以降の新規建玉のサインが出た所で行います。